

# ～TANKYU～

谷地南部小学校  
校内研究だより  
2022. 8. 30  
No.18 文責 荒木秀

## 第3回研究全体会を終えて④

Q4 その他ありましたら、ご自由にお書きください。

- 大変勉強になりました。ありがとうございました。
- できるかどうかはわかりませんが、1単元は子どもたちがつくる授業に挑戦できたと思います。ありがとうございました。
- これまでに受けた講話(大学時代の授業も含む)の中で、一番自分の中にすっと落ちてきた内容でした。今までの先生方の事例は、この子たち凄いな、こんなことが出来るなんて…私には無理だな、なんて思うことが多かったです。でも、小林先生のお話を聞いていると、今関わっている子どもたちの姿がイメージできたし、こういう子を育てたい、自分もやってみたい、と思う気持ちが強かったです。もはや感動に近いです。小林先生のお話を聞いて本当に良かったです。
- お話をお聞きして、自分の中で曖昧になっていたことがすっきりしました。大変勉強になりました。ありがとうございました。
- これまでの実践と実践の中から生まれた先生の言葉が心に響きました。ありがとうございました。

小林先生が、20年間に渡る教師としての実践を基に話をしてくださったおかげで、私たちは腑に落ちる感じを味わいながら学ぶことができたのではないのでしょうか。単なる「理論」ではない、まさに「実践に基づいた理論」ですね。

私たちは日々「実践」をしています。しかし、ときにその「実践」が本当に正しいのか、一人よがりになっていないかと不安になることがあります。だからこそ、今回小林先生のお話をお聞きして、「これでよかったんだ」という安心感や「自分もこんな風にやってみたい」という勇気をいただくことができました。

「理論と実践の往還」が大切です。鹿間先生は、次の日の授業で、ふり返りの時間を多くとり、次時の課題を子ども達と考えられたそうです。教えていただいた「理論」をさっそく「実践」してくださったんですね。ありがとうございます。みなさんも、ぜひ一歩ふみ出して、新しいことにチャレンジしてみませんか？